

手をつなぎ、 未来につなぐ。

安倍首相は2017年5月、2020年
を自衛隊を明記した新しい憲法の
施行の年にしたいと表明しまし
た。それによって今、憲法9条は最
大の危機にさらされています。

私たちは、“安倍9条改憲”反対
の一点で手をつなぎ、今の9条を
未来につないでいきたいと考えて
います。

第9条

- ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- ②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

私たちも応援しています

- 有馬 頼底(臨済宗相国寺派僧長)
内田 樹(神戸女学院大学名誉教授)
梅原 猛(哲学者)
落合 恵子(作家)
鎌田 慧(ルポライター)
鎌田 實(諏訪中央病院名誉院長)
香山 リカ(精神科医)
佐高 信(ジャーナリスト)
澤地 久枝(作家)
杉原 泰雄(一橋大学名誉教授)
瀬戸内寂聴(小説家)
田中 優子(法政大学教授)
田原総一郎(ジャーナリスト)
暉峻 淑子(埼玉大学名誉教授)
なかにし礼(作家・作詞家)
浜 矩子(同志社大学教授)
樋口 陽一(東北大学・東京大学名誉教授)
益川 敏英(京都大学名誉教授)
森村 誠一(作家)

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名

2017年5月3日、安倍晋三首相は突然、「新たに憲法9条に自衛隊の存在を書きこむ」「2020年に新憲法施行をめざす」と述べました。この発言を受けて、改憲への動きが急速に強まっています。

戦後70年以上にわたって、日本が海外で戦争をしてこなかった大きな力は憲法9条の存在と市民の粘り強い運動でした。いま、9条を変えたり、新たな文言を付け加えたりする必要は全くありません。私たちは、日本がふたたび海外で「戦争する国」になるのはゴメンです。

私たちは、安倍首相らによる憲法9条などの改悪に反対し、日本国憲法の民主主義、基本的人権の尊重、平和主義の諸原則が生かされる政治を求めます。

【請願事項】

- 1、憲法第9条を変えないでください。
- 2、憲法の平和・人権・民主主義が生かされる政治を実現してください。

名 前	住 所

第一次集約 2017年12月20日 第二次集約 2018年4月25日 第三次集約 2018年5月末

呼びかけ団体 安倍9条改憲NO! 全国市民アクション

連絡先 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-2-3 錦華堂ビル4A TEL:03-5280-7157

取り扱い団体